



県連だより

第76号
平成26年12月5日
発行
神奈川県FD連盟

◆◆ 大盛況だったシリーズ研修会 ◆◆

洋光台フォークダンスサークル 吉家 佐智子

神奈川県連の財産であるチェコ・オーストリアを中心にずっと踊り続けていきたい曲を選曲された今年度のシリーズ研修会は、定員を大幅に上まわる120余名の受講者で、会場の県立体育センターサブフロアは熱気で満ち溢れていました。

第1回目5月17日(土)、日連55周年記念盤からの「マレックのポロネーズ(ポーランド)」は、平成10年6月私共サークルの創立10周年記念親睦旅行の際、教えて頂いた思い出深い曲。第4パートで4組8人の小さなサークルになるという隊形の変化が、その当時新鮮に感じられ印象的だったことが蘇って来ました。



35周年記念研修会講師「エヴァとラディック御夫妻」
2人のムードは愛しき人よ…♥

第2回目6月7日(土)は大雨の為、急遽28日(土)に延期となりました。県連創立35周年記念でお招きしたエヴァとラディックご夫妻より教えて頂いた「ホルビチカ(チェコ)」。前半ソウセツカの優しい音楽では、可愛らしい小鳩を捕まえようとする鷺の様子を表現し、後半はチェコ独特のダイナミックで力強いリズムに変わってカップルでターンを楽しむ。何度踊っても難しい、私にとっては大曲です。「スタロダブニー(チェコ)」はチェコとの出会いの曲。心に染み入る素敵

なメロディー。すっかり魅せられてしまいました。ラディック氏に寄り添い可憐に踊るエヴァさんのソウセツカ・ステップを思い出しながら踊りました。

その他今回の講習曲は以下のとおりです。

- バルソビンナ・カドリール(アメリカ)
日連55周年記念盤
- レンバッハ・レントラー(オーストリア)
県連40周年記念マイクスナー夫妻講習曲
- シュタイアー・エッガー(オーストリア)
県連40周年記念マイクスナー夫妻講習曲

いずれもまさしく長く踊り続けたい曲ばかりだったなあ～と感じながら帰途に着きました。

最後に、暑い中熱心にご指導くださった講師の皆様、大雨による日程の変更等々ご尽力くださいました県連スタッフの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



40周年記念研修会講師
「マイクスナー御夫妻」
奥様の振袖姿にマイクスナー氏の目が…♥



平成26年度 夏期指導者講習会に参加して

養成部 理事 東 孝子



千葉・神奈川の県連旗の下に役員集合

今年の「夏期指導者講習会」7月12日（土）～13日（日）は、地元神奈川の箱根高原ホテルで行われました。台風の影響もあり、当日の天候が気がかりでしたが、参加者の日頃の行いが良いせいか晴天に恵まれホッといたしました。

参加者は、千葉県67名、神奈川県170名の総勢237名でした。

メイン講師は、「富山県の中條（ちゅうじょう）初美講師」で、お相手は、「神奈川県の中村憲次講師」によるものでした。

講習曲は「全7曲」で、内5曲を中條講師が指導してくださいました。衣装も2回交換されるなど一曲一曲を大切に講習していただきました。「髪飾り・帽子・小道具」にも気を配り、見た目の楽しみも添えていただき一層印象深い講習になったと感じました。

踊りに先立って「曲に関する国の衣装・地図（地理的な説明）」などを黒板に掲示してください、曲の合間に解説をいただいたりして、曲や国の概要を把握することもできました。特に「エル・バイレシート（アルゼンチン）」は、踊り自体も哀愁たっぷりの踊り方で見とれるばかりでした。また、サッカーのワールドカップで決勝進出したアルゼンチンの水色と白のストライプの国旗もより深く印象に残りました。

他の2曲については、「ラ・ヴァルス・デ・フィオレット（フランス）」は、「千葉県の高橋恵子講師」が、「グーフス（アメリカ）」は「神奈川県の中村孝子講師」に指導していただき、いずれも楽しく教えていただきました。

講習会最後の中條講師によるクールダウンでは、「靴を脱ぎ、足の指一本一本を丁寧にもみほぐす」など、身体を労わる動きが随所に含まれていて全身の疲れが自然と取り除かれるようで心地よいものでした。

今回の夏期指導者講習会は、指導者として色々な面で収穫多い講習会であったと感じます。



可愛い花飾りの中條講師。パートナーの中村憲次さんもロシアのコスチュームでカテリーナ。



高原ホテルの体育館いっぱい参加者でした。

平成26年度 かながわスポーツ・レクリエーション大会 に参加して

春女苑ちがさき 寺本 迪子



総合受付風景

前夜の雷雨がうそのような青空のもと、県立体育センターでの「スポーツ・レクリエーション大会」に、娘を誘って参加しました。彼女は年に2～3回サークルに遊びに来る程度ですが、初心者でも大丈夫ということなので誘ってみました。

フォークダンスもレクリエーションダンスも、やさしいダンス・楽しいダンスで、指導者のわかりやすく、丁寧な説明で、会場内がなごやかに盛り上がりました。多くの

人と「久しぶり…お元気？」と声を掛けあい、また知らない方達とも笑顔で踊れて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。フォークダンス、レクダンスの仲間がみんなで和気藹々と過ごせたのは、本当にすばらしいことだったと思います。多くの方から、まだまだ元気で…というパワーを頂きました。

午前・午後と6パート全24曲を踊り終えて、参加者の笑顔が広がり、健康で踊り続けられることのすばらしさを改めて感じました。ダンスをほとんど知らない娘も「とても楽しく踊れた」と大変喜んでいました。

暑い中、楽しく盛り上がった会場を、ホットな気持で後にしました。

スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



県レクリエーション協会会長 佐藤誠治氏



レクリエーションダンス・フォークダンス連盟合同で

神奈川県フォークダンス連盟指導者研修会

普及部 部長 村上 克江



花月園から見た富士山
空も晴れて、今日もいいことありそうな…！

「まさに『はるみワールド』に1日目から引き込まれてしまいました。」内田副会長が閉講の挨拶の中で言われた事です。

平成26年9月20日(土)13:00～21日(日)12:00 レイクアリーナ箱根に於いて「神奈川県フォークダンス連盟指導者研修会」が開催されました。

講師には、國元はるみ先生をお招きして、冒頭での『はるみワールド』に魅了された2日間を過ごしてきました。

講習曲は全部で6曲でした。どれも楽しい踊りでしたが、特に、「ザ・スイス・ダンス (スイス)」は今までにないスタイルの踊りで、会場がたいへん盛り上がりました。國元講師の変わらぬ可愛らしさと、お人柄がにじみ出る話術と、踊りの表現の豊かさに、真似のできない歯痒さと、それとは反対に、講習の満足度が高まって行った気がいたしました。

また今回はグループ別討議の時間があり、5つのテーマをA～Jの10班に分かれて話し合いました。私はi班で「指導者研修会に望む事(内容と時期)」がテーマでした。発言をしない人が一人もない程、活発に意見が出され、有意義な時間だったと思います。

高齢化の進む中「一泊での参加は無理」、「パートナーが行かなくなったので、一人での参加は不安」等の意見の他に「今回は國元先生が講師だったので頑張って参加しました。」、「初めて参加しましたが来て良かった。」といった意見も多数聞かれたことは、大変良かったと思います。



國元はるみ講師と名倉さん



グループ討議 沢山意見が出ました。



講師を囲んで当日スタッフ集合

第68回全国レクリエーション大会 2014福島に参加して

ちがさきYAグループ 阿部 泰子

今年は福島、9月19日（金）～21日（日）に開催。毎年フォークダンスとレクダンス大会に参加していましたが、今年は福島観光をする事にレクダンス大会だけの参加です。会場は「県営あづま総合体育館」。ここは南相馬市に住む妹が3.11震災の時、約2か月程避難生活を送った所なので「みんなで行こう?」と声をかけ、50名で行く事になり、デモにも参加決定。衣装は手作りして何回か練習を重ねるうちに、みんな心ひとつになっていくのを感じました。

福島駅からバスで30分、りんご、梨、ぶどう等々、果樹園の並ぶ道を通り会場へ。会場は思ったより狭く、ここで2,000人近くの人が避難生活を送っていたのか、と感無量でした。

今日の参加者は1,811名と大勢で福島の人達883名は観覧席での参加でした。歓迎セレモニーでは郷土色豊かに「相馬流れ山」その他素晴らしい演技を披露して下さいました。天野勤、牧野正江、奥野忠枝三講師の講習の後デモタイム。10チームの参加でした。私たちの「陽はまた昇る」はサッカーの応援歌ですが、「ガンバレ日本」を「ガンバレ福島?」とダブらせ、最後は大きな声で「ガンバレ福島!!」と片手を上げてポーズ。退道の道々「元気をもらいました」「感激しました」と声をかけて頂きみんなニコニコ満足。デモは一つの目標に向かって、練習、衣装作り等しながら心ひとつになり、最後は大きな達成感を味わう、最高の老化防止薬です。

日連タイム、さよならタイムと続き、「今日の日はさようなら」で幕を閉じました。

終了後はバスで飯坂温泉。夜は打ち上げで盛り上がり楽しくハジケて後は温泉に入り疲れをとりました。翌日は観光、福島にいっぱい(?)お金を落として帰ってきました。

福島の役員の方々には人数も多くきめ細かく面倒をみて頂き感謝でいっぱい、いろいろ学ばせて頂きました。全国レクは年一回、全国の友達と会えるのも大きな楽しみです。

これからも元気な限り参加したいと思います。



レクダンス会場 フロアも観覧席もいっぱい!



フォークダンス会場 握手で交流

写真提供:福島県 佐藤武志氏



ハローフォークダンスフェスティバルに参加して

山吹 安江 文子



会場前の縦看板

やっと秋らしくなった10月20日茅ヶ崎市総合体育館でハローフォークダンスフェスティバルが開催されました。

500名以上の参加が有り準備体操の時には広いフロアはダンサーでいっぱい。1曲目のネバー・オン・サンデーが終るとコーラス隊の登場。マケドンスコ・デヴォイチェ、ホラ・デ・ムンテを美しい歌声で盛り上げてくれました。

サブ会場では7パート曲の丁寧な指導もありました。昼休みには5団体のデモンストレーション、荘厳なヤン・トウホのポロネーズ、楽しいレクダンス、スマートなスコティッシュ、中国の転花帽と世界の踊りでみんなを楽しませてくれました。

お弁当を食べながらの至福の時に感謝。午後のフリータイムも見ている人はほとんどなく、日頃の練習成果を発揮することができました。

踊ることがマンネリ化していた私にとって踊り始めて間もない方々との交流は新鮮でした。不安そうに踊っている方、嬉しくて意気揚々とした方、年齢はさほど変わらないと思われませんがウイウイシサは歳ではないのですね。女性の健康寿命は74歳だそうですが、フォークダンサーのワカワカシサに脱帽です。



会場いっぱいに咲いた「華」あなたもその一輪！

最後の3重円で踊ったイエディド・ネフェシュは会場が1つになった瞬間でした。実行委員長の“ハロー”の開会宣言で始まり、大会副会長の“来年もハローとお会いしましょう”の言葉に満足した気持ちで帰途に着きました。





ラウンドダンス講習会に参加して

茅ヶ崎ハーモニー 丸山 美智子



伊藤隆夫・節子ご夫妻

抜けるような青い空。秋晴れの気持ちの良い日に会場である「海老名市北部公園体育館」へ向かいました。混雑することを予想していましたが以外にも参加数が少なく感じました。

いつもながらステキな伊藤先生ご夫妻による講習会が12時30分の定刻に始まりました。会長から当初より同じ先生にお願いし、20年位続いているとの事。今では日本の中のみならず世界に轟く講師にご教示頂けるのは大変光栄なことと思いました。

講師からも初めの頃は「ターニング・ボックス」も解らなかったのが今では言葉だけで動けるようになり、毎年の積み重ねで指導する方も楽になりました等、ユーモアを交えた楽しい話をしながらも、丁寧に、こと細かく、優しく教えて下さいました。

昨年から日本人に馴染みやすい音楽に日本人の先生が振り付けした曲を日連で出してくれるようになり、少し易しくなったようにも思います。伊藤先生の振り付けの曲も全8曲中2曲あり、今回はその曲も含めて4曲教えて頂きました。フェーズⅣの“チャチャ”は2～3年前だったらそんな無謀なことは出来なかったが、皆さんの力が付いて来たのでチャレンジしてみましたとのうれしいお言葉を頂きました。ルンバは「セレブで上から目線…」との言葉も印象的で、これからは少しでもスマートに踊れるように心掛けたいです。

今回の参加者は228名とのことでしたが、会場はゆったりとして、手を広げても隣の人にぶつからず、音楽も講師の説明も良く聞こえ、マナーも良く大変良い環境の中での講習会だったと大満足でした。が、後で耳にしたのですが、一部分では混み合って“ルッキング・サークル”の意味が解らない方がいたそうです。講習の前に担当者から或いは事前にサークルでマナーのご注意があれば良かったかなと思いました。



開講式 これからの講習に胸は期待でふくらんでいます。



スコティッシュ in 神奈川 に参加して

逗葉フォークダンスを楽しむ会 北條 節子

秋たけなわ、行事の重なった11月9日(日)、一日雨の予報が、一滴の雨もこぼれず、幸先がいいと善行の坂をあがりました。善行の第2体育館には“ハローフォークダンスフェスティバル”等とはちょっと違うドレスの方も混じって大勢集まりました。午前のイングリッシュは、3人の司会者の柔らかく、明瞭なコールと的確なスポットで楽しく踊れました。誰か間違ったのか“ワー”と声がかけていました。隊形作りは大変なのに、お役の方がスウーとはいって下さって揃うのが速く気持ちよく動けます。



スタッフの力作です



素敵なタペストリー

10月25日(土)の練習会で午前4曲、午後4曲ミッチリ習い、お役の方のお世話が効いたのか皆動けて楽しさが増しました。

午後はスコティッシュ愛好者の盛装が一段と映えました。3パートそれぞれの司会者が、スコティッシュ独特の動きを実践して下さい、コールがよくわかりました。ステップが気になるのか、ちょっととまどいもありましたが、曲を征服していきました。

習ったばかりの曲、曲名だけは覚えている曲、懐かしい曲、選曲がいいと皆で話しました。

午前の“ピッキング・アップ・スティックス”、“ザ・ウィーヴル” 午後の“ファーガス・マッキィヴァー” “インチケリー”には大声、はやし声が出て大いに盛り上がりました。

お役の方々の心づかいに心より感謝します。仲間と元気に楽しく踊れることを、しみじみ幸せに感じました。



クイズ…さて、何の踊りでしょう？

* 平成26年度行事予定 *

全国FD指導者講習会伝達講習会
全国FD指導者講習会伝達講習会
かながわFDフェスティバル

2015年 1月22日(木)
1月25日(日)
2月22日(日)

県立体育センター メインフロア
海老名市北部公園体育館
藤沢市秩父宮記念体育館

発行責任者：神奈川県フォークダンス連盟 理事長 小鮎 吉子
連盟ホームページ：<http://www.cityfujisawa.ne.jp/~fd.fed.k/>

E-mail：fd.fed.k@cityfujisawa.ne.jp

編集後記：皆様の協力を得て第76号県連だよりを発行することが出来、ホッと一息ついております。ところで、75号関甲連ジャンボリー記事に登場した“ぐんまちゃん”今年のゆるキャラグランプリに輝きました。可愛いですね。皆様に親しまれる紙面目指して、部員一同、額寄せ集めて知恵出し合っています。 総務部編集委員一同